

水道筋商店街

(水道筋商店街協同組合)

兵庫県神戸市

！取組のポイント

次世代に継承するため、“安全で快適な”“環境にやさしい”商店街を目指す。

取組の背景

課題を把握し再生プランを策定

水道筋商店街が立地する水道筋エリアは、阪神・淡路大震災の影響も比較的少なく、震災以降、商店街の商圈人口は増加している。周辺には、王子動物園や王子公園、王子スタジアム、横尾忠則現代美術館があり、多くの人が訪れる。また、その利便性の高さから、周辺ではマンション建設が相次いでいる。さらに、2016年3月、近隣にJR新駅(摩耶駅)が開設したことから、さらなるマンション建設の進行及び周辺人口の増加が見込まれている。

そのような中、商店街では新しい住民をどう商店街に取り込むかを課題と捉え、2010年度に兵庫県の補助事業を活用し、今後の方向性について定めた「水道筋商店街(エルナード水道筋)まち再生プラン」を策定した。商店街の強みや売りを分析した結果、当商店街には買い物目的に訪れる人だけでなく、通勤・通学、散策などのため子どもから高齢者まで幅広い客層が来ることが判明したため、来街者に「安全で快適な」空間を提供すること、次世代にまちを継承していくために「環境にやさしい」商店街を目指すことなどの取組を行うこととした。

取組の内容

魅力アップのために設定した4つのコンセプト

「水道筋商店街(エルナード水道筋)まち再生プラン」では商店街の魅力をアップさせる4つのコンセプトとして、「安全・安心」、「おもてなし」、「環境」そして「遊芸」とおき、これらを具現化するため、2011年度にハード整備を含めた再生計画を策定し、以降、具体的な事業に取り組んでいる。

商店街の長いアーケードは、「安全・安心」で快適な買物空間を来街者に提供し、「おもてなし」する商店街の核施設であることから、「環境」などに配慮したアーケードとして、2012年度に国の補助事業により改修を行った。また、「環境」についての取組として、エコポイント「エルナ」を導入。

一方で、アメフトのユニフォームを着たキャラクター「水道筋汗かき恵比寿」などを用い、地域資源である「アメフト」を活用したイベントなどの定着化を図るとともに、「遊芸」時間を提供する商店街として、イベントのさらなる拡充を図っている。

また、商店街の次世代を担うリーダーを育成するため、周辺商店街とともに、2015年度に株式会社全国商店街支援センターが行う「商人塾支援事業」を実施している。

水道筋汗かき恵比寿



取組の成果

明るい商店街で、新住民の取り込みに成功

アーケード改修の結果、明るく、来街者に安心感を与えられるようになったことで、通行量は今まで以上に増加している。

ゲート性が高まり「おもてなし」度が向上したアーチや、明るい商店街の実現が、若年ファミリー層を中心とした新住民の取り込みに寄与しており、ベビーカーを押した母親の姿も多く見られるようになった。

また、「遊芸」の取組として、わくわくする商店街を目指してアーケードを舞台にしたイベントの拡充を行ったところ、マスコミによる情報発信の効果も重なり、商店街及び各種イベントの知名度が向上した。

「エルナ」が当たるペットボトルDE抽選会



実施体制

エリア全体の活性化を目指し、エリア内の商店街団体だけでなく、地域の文化施設である灘区民ホール、行政機関(神戸市灘区役所まちづくり推進課)とも連携しており、「ワクワク水道筋会議」を設置。2012年9月から毎月1回開催している。

商店街の最寄り駅である阪急王子公園の近隣の集客施設(王子動物園、王子スタジアム、兵庫県立美術館、原田の森ギャラリー(横尾忠則現代美術館))と連携し、エリアマップ「水ブラマップ」の作成及びコラボイベント「水道筋通り抜け」を実施するなど、にぎわい創出のため多様な取組を試みている。

「水ブラマップ」ほかオリジナルグッズ



キーパーソンからのコメント

水道筋商店街協同組合

写真左より

運営企画部長 西井 利行

環境整備部長 三村 悦男

理事長 津村 正武

会計部長 柴田 基普

販売促進部長 永井 和浩



アメフト×恵比寿様=唯一無二のキャラクター

アメフトとのコラボにより日本で唯一のアメフト選手姿をした「水道筋汗かき恵比寿」が生まれました。「商売繁盛」「勝利」「健康」の願いが叶うため、毎月10日を中心に非常に多くの方がお参りに訪れるようになり商店街のにぎわいが増えました。

また、えびす音頭やえびすグッズ、着ぐるみなど、恵比寿様に関するものも次々と生まれ、テレビや新聞に取り上げられることも多く、元気な商店街をPRするために役立っています。

「懐かしくて新しい」昔ながらのにぎわいのある商店街へ

ワクワク水道筋会議を通じて生まれた地域通貨「エルナ」、「エルナ」の歌、水道筋かるた、水道筋ツアーガイドマニュアルなどの資源を活用するとともに、市場とタイアップして行う紙皿食堂、水道筋つまみ食いツアーなどの取組をさらに発展させ、エリア周辺を含めた連携により、「懐かしくて新しい」昔ながらのにぎわいのある商店街を子どもから高齢者までの幅広い世代の方々に楽しんでいただけるよう、今後とも新しい取組を続けます。

基本データ

所在地	兵庫県神戸市灘区水道筋
人口	約14万人(神戸市灘区)
電話/FAX	078-871-1818/078-891-3020
関連URL	http://www.suido-suji.com
会員数	118名
店舗数	116店舗(買回り品小売店43、最寄品小売店20、飲食店18、サービス店8、その他27)
商店街の類型	近隣型商店街
主な客層	家族連れ、主婦、高齢者

商店街概要

水道筋商店街の歴史は1926年頃に遡る。千刈貯水池から兵庫まで送水管を引いた上に店舗が集まり、商店街ができ、神戸市内でも有数の商業地として発展した。

現在、水道筋と呼ばれるエリアには市場が集積しているが、水道筋商店街協同組合はその中でも中心的な存在を担っており、大勢の買い物客でにぎわいを見せている。商店街の周辺は、利便性の高い立地条件から、近年、若年ファミリー層を中心とした新住民が増えており、来街者は多世代にわたる。